

新しい形式の問題

張 勤

1 新しい形式の問題の検討

(CEFR との関係) 1) セファールの設定に中検を合わせて検証する

- 2) (以上をもとに) 中検を軸に、級別の語彙数、四技能、文法配置などについて中検の問題のあり方を検証する

(検討手順)

- 1) セファールの「共通参照レベル:自己評価表」に中検問題 (97 回~99 回) を対照してみる。
- 2) 「理解すること」の「聞く」=リスニング
「理解すること」の「読む」=筆記
「話すこと」の「やりとり」=リスニング (完全に一致しない)
「話すこと」の「表現」=二次試験 (面接がない級はどうするか)
「書くこと」=翻訳、筆記第5問

(結果) 別表を参照。

2 新しい形式の問題 (変更点)

(概要) 1) 今回の変更は、1級・準1級・2級の筆記4と筆記5についてのみである。

- 2) 趣旨は、セファールの表出する (特に表出の文章化) 部分に合わせることで、中検の強みで特徴である翻訳、実際に書くことを強化することになる。

(変更) 1) 筆記4

- 1級 問題形式: 変更せず (中文日訳)
問題数と配点変更: 3題→2題、24点→22点
趣旨: 1) 従来は量が多かった
2) 配点を筆記5の新問題に回す必要がある

- 準1級 問題形式: 変更せず (拼音+中文日訳)
問題数と配点変更: (拼音) 変更せず、4点
(中文日訳) 3題→2題、22点→16点

- 趣旨: 1) 従来は量が多かった
2) 配点を筆記5の新問題に回す必要がある

- 2級 問題形式: (読解問題) →準1級と同様な形式 (拼音+中文日訳) に変更する
(拼音) 2題、4点 (中文日訳) 2題、14点

- 配点変更: 22点→18点
趣旨: 1) 従来は筆記1と筆記4は同様な問題でダブっている
2) 配点を筆記5の新問題に回す必要がある

2) 筆記5

1級 (24点) 従来の (1) (2) は変更せず、配点を8点ずつに。

(3) を新設。与えられた5つの語彙で、122-122字までの作文をする。8点

準1級 (24点) 従来 (1) (2) は変更せず、配点を8点ずつに。

(3) を新設。与えられた3つの語彙で、82-122字の作文をする。8点

2級 (22点) 従来 (1) ~ (4) は変更せず、配点を4点ずつ。

(5) を新しい問題に変更し、与えられた2つの語彙で、32-52字の作文をする。6点

(1 級・準 1 級・2 級のバランス)

筆記 4	中文日訳		拼音		全体配点
	問題数	配点	問題数	配点	
1 級	2	12	2	2	22
準 1 級	2	8	2	4	22
2 級	2	7	2	4	18

筆記 5	日文中訳			作文			全体配点
	問題数	原文長さ	配点	単語数	求める字数	配点	
1 級	2	122-122	8	5	122-122	8	24
準 1 級	2	82-122	8	3	82-122	8	24
2 級	4	32-52	16	2	32-52	6	22

いずれも問題の長さや配点の傾斜構造になるように配慮している。

3 新しい形式の問題のイメージ (*変更がされる場合がある。)

1 級 **时间, 电话, 羡慕, 每天, 充足**

在街上每看到悠闲地坐在咖啡店外面太阳伞下喝着咖啡的人, 总会有一种说不出的**羡慕**。我若是也有那片刻的**时间**该多好啊! 我**每天**有打不完的**电话**, 准备不完的会议资料, 看来很**充足**, 但是心里却是空空的。我得好好思考一下什么是我需要的生活了。(112 字)

準 1 級 **时间, 每天, 电话**

我想买几件夏天的衣服, 但**每天**工作都很忙, 没有**时间**去买。明天是星期六, 我终于可以休息了, 刚才我给小王打了**电话**, 说好明天一起上街。(63 字)

2 級 **时间, 每天**

同学们**每天**都在说《你的名字》很有意思, 我也很想看。明天晚上我不打工, 可以有**时间**去看电影了。(45 字)

(以上)

共通参照レベル：自己評価表

		理解すること		話すこと		書くこと (筆記・翻訳)
		聞くこと (リスニング)	読むこと (筆記)	やり取り (*リスニング)	表現 (*二次試験)	
基礎段階の言語使用者	A1	はっきりとゆっくりと話してもらえれば、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	例えば、掲示やポスター、カタログの中をよく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えたりしてくれて、また自分が言いたいことを表現するのに助け船を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。直接必要なことやごく身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	新年の挨拶など短い簡単な葉書を書くことができる。例えばホテルの宿帳に名前、国籍や住所といった個人のデータを書き込むことができる。
		準4級	準4級			
	A2	(ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの) 直接自分に関連した領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。	ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。簡単に短い個人的な手紙は理解できる。	単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。	直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。短い個人的な手紙なら書くことができる：例えば礼状など。
	4級	4級	4級	4級	4級	
自立した言語使用者	B1	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。	非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。	当該言語圏の旅行中に最も起こりやすいたいの状況に対処することができる。例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語るすることができる。意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。物語を語ったり、本や映画のあらすじを話し、またそれに対する感想・考えを表現できる。	身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。私信で経験や印象を書くことができる。
		4級、3級	4級、3級	3級	3級	3級、2級
	B2	長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。たいていのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。標準語の映画なら、大部分は理解できる。	筆者の姿勢や視点が出ている現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	流暢に自然に会話をすることができ、母語話者と普通にやり取りができる。身近なコンテキストの議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。	自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。	興味関心のある分野内なら、幅広くいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。手紙の中で、事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。
	3級	3級	2級			
熟達した言語使用者	C1	たとえ構成がはっきりしなくて、関係性が暗示されているにすぎず、明示的でない場合でも、長い話が理解できる。特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。自分の関連外分野での専門的記事も長い、技術的説明書も理解できる。	言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を精確に表現でき、自分の発言を上手に他の話し手の発言にあわせることができる。	複雑な話題を、派生的問題にも立ち入って、詳しく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。	適当な長さでいくつかの視点を示して、明瞭な構成で自己表現ができる。自分が重要だと思える点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。
		2級	2級	2級		
	C2	生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードで話されても、その話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も、難無く理解できる。	抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な、例えばマニュアルや専門的記事、文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。	慣用表現、口語体表現をよく知っていて、いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。自分を流暢に表現し、詳細に細かい意味のニュアンスを伝えることができる。表現上の困難に出会っても、周りの人がそれにほとんど気がつかないほどに修正し、うまく繕うことができる。	状況にあった文体で、はっきりとすらすらと流暢に記述や論述ができる。効果的な論理構成によって聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。	明瞭な、流暢な文章を適切な文体で書くことができる。効果的な論理構造で事情を説明し、その重要点を読み手に気づかせ、記憶にとどめさせるように、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。仕事や文学作品の概要や評を書くことができる。
	準1級、1級	準1級、1級	準1級、1級		準1級、1級	